

吉谷 武志

YOSHITANI, Takeshi



[共同研究]

- 「多文化住民散在地域における学習・生活支援体制の構築に関する研究(研究プロジェクト)」を実施した。
- 東京都立小山台高校定時制課程との連携で「アンネ・フランク～時空を超えて～」の共同授業(総合学習)に取り組んだ。

[科研費等の研究]

- 「多様性を尊重する異文化間教育を担う教員の養成－欧州審議会とNGOの共同研究から－」(基盤研究(C)平成27年～平成29年)の第3年度の研究に取り組んだ。

[研究業績]

1.論文

- 吉谷武志(2015)「LGBT(Q)－セクシュアル・マイノリティと教育、学校」『人文会ニュース』第127号、人文会、1～18頁。
- 吉谷武志(伊藤垂希子との共著)(2015)「人権教育におけるアンネ・フランク巡回展の活用－日本における可能性と課題－」『国際教育評論』第12号、東京学芸大学国際教育センター、35～47頁。
- 吉谷武志(2015)「国際理解に関する学習－社会科における新しい課題－」『教師用指導書 小学社会 総論』日本文教出版社、174

2.報告書

- 吉谷武志(2015)「ヨーロッパにおける教員の異文化間トレーニング－欧州審議会による取り組みから－」(基盤研究(C)報告 CD版)

3.学会発表

- 吉谷武志「日本の公立学校におけるムスリム児童生徒の受け入れの現状と課題－日欧比較研究に向けた予備的考察－」(異文化間教育学会、第37回大会、桜美林大学、2016年6月5日)
- 吉谷武志(伊藤垂希子、小口功との共同発表)「ヨーロッパにおけるムスリムを取り巻く教育の現状と課題－多文化化する日本の学校への示唆－」(日本比較教育学会第52回大会、大阪大学、2016年6月5日)
- T. YOSHITANI & A. ITO, "Education for multicultural children in Japan: A Case Study of Muslim Children & School.", in International Association for Intercultural Education: Budapest Conference, Hungary, 3-9, September 2016)

4.その他

- 吉谷武志「異文化受容と文化変容－適応への努力も必要か－」『福祉研協会報』No.58-2, 13頁、福岡県社会科研究協議会
- 吉谷武志「雪国の暮らしを実感するには?－リアリティは想像を超える」『福祉研協会報』No.58-3, 13頁、福岡県社会科研究協議会
- 吉谷武志「セクシュアル・マイノリティの子どもへの対応」小林編『実践学校カウンセリング2016』(『総合教育技術』11月増刊号、88～89頁、小学館(2016年11月))
- 『外国人児童生徒受入の手引き』文部科学省、執筆協力(H23年3月)

[海外調査]

- 2017年9月 Anne Frank House(アンネ・フランク・財団(アムステルダム))を訪問し、異文化間教育・教員研修プログラムに関する調査を行った。
- 2017年11月 Anne Frank House(アンネ・フランク・財団(アムステルダム))、Council of Europe(欧州審議会、ストラスブール)及びパリを訪問し、異文化間教育・教員研修プログラムに関する調査を行った。

[講演会・研修会への参加]

- 北九州市外国人支援団体連絡協議会において「外国人の子どもの教育と子育て支援」と題して講演を行った(2017年9月22日・北九州市国際交流協会)
- 多摩六都「多文化共生」サーキット講習会で「外国につながる子どもたちの心に寄り添うとは」と題して講演した(小平市公民館2017年8月31日)

[社会的活動]

- 福岡県社会科研究協議会会長
- 『新版日文 小学校社会』(平成27年版 日本文教出版)共同著者
- (財)博報児童教育振興会「博報賞」審査委員
- NPO法人「ともに生きる街ふくおかの会」理事長

[学内の活動]

- 国際教育センター主催の「学校のセクシュアル・マイノリティ教育・支援研修－だれもがあらひのままにいられる学校のために－」で「学校におけるセクシュアル・マイノリティの現状と課題」と題して講演した(2017年7月8日)。
- 国際教育センターと男女共同参画室の共催で「TGU Rainbow Week－東京学芸大学で主にLGBTQについて考える1週間－」(2017年7月3日～8日)を開催した。
- 国際教育センターと広島市教育委員会、綾瀬市教育委員会との共催で、それぞれ「サテライトセミナー」を企画し、「JSL児童生徒の現状と受け入れ体制づくり」等の講義を行った。(2017年8月1日広島市、8月7日綾瀬市)

[主な学会活動]

- 異文化間教育学会 理事
- 日本比較教育学会
- 日本国際理解教育学会
- International Association for Intercultural Education

[教育活動]

- 教育学研究科(教職大学院)で「現代教育ニーズへの対応A」を担当した。
- 教育学部(科目:フロンティアH)を分担し「学校におけるセクシュアル・マイノリティ」と題して講義した。